

## Dr. Nano for Dental 除菌効果の実証比較試験結果報告（速報）

2018年4月20日

一般社団法人新環境技術評議会

- 2018年2～3月に、同一歯科医院において、Dr. Nanoを1カ月以上前に付けたユニットと、付けていないユニット（コントロール）から検体を採取し、Dr. Nanoの除菌効果について、比較実験を行いました。
- 実験結果の分析は、日本大学松戸歯学部への委託研究によるものです。

表：Dr. Nano を付けたユニットと付けていないユニットでの生菌数比較結果（単位：CFU/mL）

検体番号	歯科医院	ユニット メーカー名	Dr. Nano 付き ユニット	Dr. Nano 無し ユニット（コントロール）
1	千葉 A	ヨシダ	0	10 <sup>4</sup>
2	千葉 A-2 回目	ヨシダ	0	10 <sup>5</sup>
3	東京 A	モリタ／プランメカ	0	0
4	大阪 A	モリタ	0	10 <sup>2</sup>
5	東京 B	シロナ	0	10 <sup>1</sup>
6	東京 C	シロナ	0	10 <sup>3</sup>
7	岩手 A	ヨシダ	0	10 <sup>1</sup>
8	栃木 A	モリタ	0	10 <sup>3</sup>
9	神奈川 A	ヨシダ	0	10 <sup>2</sup>
10	千葉 A-3 回目	ヨシダ	0	10 <sup>3</sup>
生菌が検出されたユニット数			無し（0%）	9 台（90%）
うち、生菌数 100 CFU/mL（一般細菌数の 目標値）超のユニット数			—	5 台（50%）
生菌が検出されなかったユニット数			10 台（100%）	1 台（10%）

方法： Dental EZ-DIP による生菌数測定。医師側 3way シリンジより検体採取し、38℃で 48 時間、恒温槽で培養し、対照表比較

### 実験結果（速報）

- Dr. Nano を付けたユニットからは、生菌は検出されませんでした。
- 一方、同じ歯科医院の（すなわち同じ水道水を使っている）、Dr. Nano を付けていないユニットでは、90%から生菌が検出され、50%は 100CFU/mL 超でした。
- 以上より、Dr. Nano による歯科ユニットのウォーターラインの除菌効果は、概ね実証されたと考えております。尚、本実験の正式報告書は 2018 年度に公表の予定です。

参考資料：Dental EZ-DIP での培養結果（抜粋）

各写真の左：Dr. Nano 装着ユニット

右：Dr. Nano 非装着ユニット



検体 1



検体 2



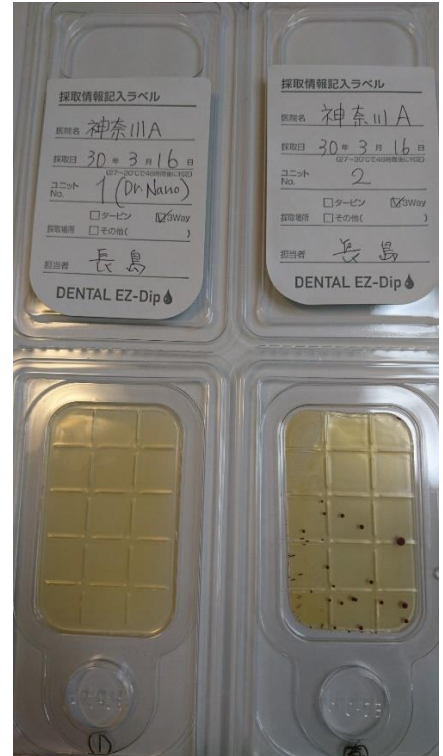
検体 4



検体 6



検体 8



検体 9